

「新資料紹介 生誕90年

柏原兵三―恩師との書簡と同人雑誌「運河」

令和5年6月30日(金)～令和6年6月下旬

柏原兵三(1933～1972)は、「徳山道助の帰郷」で第58回芥川賞を受賞しました。少年期に父の故郷である富山県下新川郡入善町に疎開した体験をもとに描いた小説「長い道」では、したたかな子どもたちの社会を生き生きと描いています。「長い道」はのちに藤子不二雄(A)の漫画「少年時代」の原作となり、篠田正浩監督「少年時代」として映画化されました。

高志の国文学館では、2022年に開館10周年記念企画展「没後50年 芥川賞作家 柏原兵三展」を開催しました。企画展をきっかけに、このたび、柏原兵三の東京大学時代の恩師で同人雑誌「運河」の顧問ともいうべき立場にあったドイツ文学者・斎藤栄治教授に宛てて柏原兵三が送った書簡13通を、斎藤栄治教授の次女、松崎美沙氏より寄贈いただくこととなりました。

2023年は、柏原兵三の生誕90年に当たります。この機会に、新たに受贈した書簡を公開します。あわせて、柏原兵三旧蔵資料(当館蔵)より、斎藤栄治教授から受け取った書簡や、柏原が大学の友人たちとともに創刊した同人雑誌「運河」などを展示します。

今回の展示では、令和5年度富山大学人文学部開講「博物館実習」履修学生の皆さんの協力を得て、柏原兵三が「運河」に連載した小説「夏休みの繪」と「長い道」の紹介パネルを制作し、キャプションの作成や展示作業を行います。学生の皆さんが注目した小説の見どころを、ぜひあわせてご覧ください。



柏原兵三 斎藤栄治宛て書簡(1966年8月27日付)  
「運河」第9号と「長い道」の進捗を知らせる \*新収蔵



柏原兵三(左から2人目)  
斎藤栄治先生を囲んで「運河」同人と